

## 令和5年度第1回狭山市立図書館協議会会議録

- 開催日時 令和5年7月21日（金）  
午後2時～午後3時15分
- 開催場所 中央図書館 視聴覚室
- 出席者 齋藤裕美会長  
宮原礼典委員 今福裕美子委員  
田中美加委員 指田良恵委員  
宮崎 望委員 河野郁夫委員  
田地恵美子委員 土屋深優委員
- 欠席者 小浦太郎委員
- 事務局 滝嶋教育長 内藤生涯学習部長  
(中央図書館) 田口館長 原副館長 堀内主査 粕谷主任  
(狭山台図書館) 吉田館長  
(教育指導課) 児島指導主事
- 傍聴者 なし
- 協議事項 (1) 令和4年度事業報告について  
(2) 令和5年度事業計画について  
(3) その他
- 会議の経過
- 1 開会
  - 2 あいさつ
  - 3 会長・職務代理の選出  
会長に齋藤裕美委員が選出され、職務代理に今福裕美子委員が指名された。
  - 4 議事
- (1) 令和4年度事業報告について
- 事務局 事務局より図書館要覧に基づき令和4年度に実施した事業について報告を行った。  
中央図書館からは、「特集本コーナー展示」「ミニ特集展示」「講演会

(生まれ育った土地と小説)」「ちびちびぞうクラブ」「ちびちびクラブ」「ちびぞうプラス」「でかぞうクラブ」「出前講座」などについて説明した。

狭山台図書館からは、「地域企業によるイベント、企業展示コーナーの設置および関連図書の展示・貸出」などについて説明した。

- 委員 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴う、利用者の滞在時間等はコロナ禍と変化はあるか。また、イベントなど開催した時の状況はいかがか。
- 事務局 時間制限は設けていないため、利用者が望む時間帯で利用できていると感じており、特に影響は見受けられない。イベントについては、読み聞かせ等でマスクを着用している方もいる。イベント自体知られていない時もあるが、声を掛けると参加してくれることも多い。
- 委員長 コロナ禍では図書館にいられる時間が短かったが、今、制限はないのか。
- 事務局 制限はない。  
(コロナ禍では時間を制限しており、R3年度は予約の取り置きが増えた。R4年度は直接来館できるようになったため、取り置きの件数は減少した。)
- 委員 特別整理期間が中央図書館と狭山台図書館ともに10日以内となっているが、所蔵数が少ない狭山台図書館では何日休館したのか。
- 事務局 5日間休館した。
- 委員 図書購入費が高額となっているが、書庫の状況はいかがか。
- 事務局 中央図書館の場合、所蔵数全体の4割ほどが一般の方が立ち入りできない閉架書庫にあるが、空きスペースはほぼない。  
時代のニーズに応じた書籍の購入と並行して除籍を行っている。
- 委員長 除籍した本は一般の方が自由に持って帰れるのか。
- 事務局 先日、公共施設向けにリサイクルコーナーを設け、150箱中10箱分(約470冊)を再利用として持ち帰ってもらった。残りは一般の方向けに今後実施する予定である。

## (2) 令和5年度事業計画について

- 事務局 事務局より図書館要覧に基づき、昨年度からの開館時間の変更や主な事業について説明を行った。  
中央図書館からは、既存事業を再編し、関係課との共催事業として、認知症関連等の講演会及び映画会等の実施について説明した。  
また、図書資料の有効活用として、「図書のリサイクル」、市民と連携

した図書活動の実施について、16ミリ友の会による「子ども映画会」及び狭山市地域文庫連絡会による「ぶんこのポケット（絵本の読み聞かせ等）」の開催、図書館と学校との連携の推進として、「図書館訪問学習の受け入れ（職場体験学習）」について説明した。

狭山台図書館からは、既存事業を継続しつつ、地域に愛着を持ってもらえるような事業として、市内の史跡や寺社仏閣を巡り、地元のガイドによる解説の実施について説明した。

- 委員長 高齢者や障害者等へのサービスの充実として「郵送貸出しの検討と実施」とあるが、今後のスケジュールは決まっているのか。
- 事務局 昨年度策定した図書館運営基本方針に項目を設けたが、令和5年度から令和9年度までの5年間の計画の中で検討していきたいと考えている。
- 委員 図書館システムの更新とあるが、現時点での課題、利用者からの要望等はあるのか。
- 事務局 利用者からの要望は特段寄せられていない。  
週6日と稼働率が高いため機器の不具合が生じているが、1年間の再リース予定である。電子書籍の段階的な導入を見据えて、システム更新ができるよう関係課へ要望していく。
- 委員 以前実施していたような読み聞かせ講座の開催はあるのか。
- 事務局 今年度の事業計画にはないが、今後も実施を検討していきたい。
- 委員 移動図書館の巡回場所や巡回ルートの見直しとあるが、検討したことや変更になったところはあるのか。
- 事務局 常に利用状況を踏まえた見直しは必要と考えているが、現時点ではルート変更の検討はしていない。車両の老朽化もあり、図書館の建て替えやシステムの更新と含めて課題として捉えている。
- 委員 認知症関連の事業で回想法（昔の写真や音楽を使った心理療法）のキットの作成やイベントの開催はあるのか。
- 事務局 今後の参考にしたい。参加者との交流をもてるような講座を検討していきたい。
- 委員長 中高生向けの広報紙「YOMUZO TIMES FOR TEENS」は名称とともにリニューアルされたのか。
- 事務局 名称及び紙面を変更したものであるが、引き続きおすすめ図書の紹介をしていく。
- 委員長 図書館及び学校の図書館ボランティア同士の交流を図書館が中心となって実施する計画はないのか。
- 事務局 引き続き検討していく。

(3) その他

令和5年度狭山市人権教育研修会の開催について案内した。

5 閉会